

令和6年度 西連携型小中一貫校（西中・美土里小・平井小・日野小）

コミュニティ・スクール通信 №2

令和6年8月1日発行

西連携型小中一貫校学校運営協議会 会長 松原 甚太郎

7月10日（水）、西中学校にて「西連携型小中一貫校教育懇談会」を開催しました。校区の区長会・青少推・スポーツ協会・更生保護女性会・子育て連・民生児童委員・地域づくりセンター・PTA・教職員の各代表にご参会いただき、いじめが起こりにくい地域や学校づくりについて熟議しました。

【本会への思いを込めて挨拶する松原会長(左)】

【その時のオンライン各会場の様子(右)】



西連携型小中一貫校 教育懇談会

1 西連携型小中一貫校におけるいじめ問題への取組

西中学校生徒会役員が、児童・生徒を代表し、いじめ問題解決に向けての様々な取組、その成果と課題などを報告しました。西中独自の取組である「西色（にしいろ）」をはじめ、市・校区共通の取組である「スマイルハイタッチあいさつ運動」や「HAPPYはあとふるツリー運動」「藤岡市ネットいじめ防止行動目標アクション3+」の実際について、西中生が真剣に熱く語ってくれました。とても頼もしかったです。



今回は、各小学校の取組についても、動画で報告しました。

【オンラインで参加する西中生(上)】 【動画で参加した各小学生(下)】

2 班別熟議 テーマ「いじめが起こりにくい地域や学区づくりに向けて、大人ができること」



1班7～8名で構成した全10班のそれぞれが、学校運営協議会委員や学校職員の進行のもと、およそ40分間じっくりと話し合いました。あえて昨年度と同じテーマで、大人として「できていること」「心がけていること」「子どもへの気持ちの伝え方」「難しさを感じている点」などについて、家庭における子育ての現状や経験、地域での子どもたちとの関わりを通して、熱心に意見交換なされました。話し合われたことをまとめ、裏面に掲載しました。ぜひ目をお通しください。

【問い合わせ先(☎)】 ～家庭・地域の皆様のご意見・ご感想をぜひお寄せください。～

西中学校：22-0704

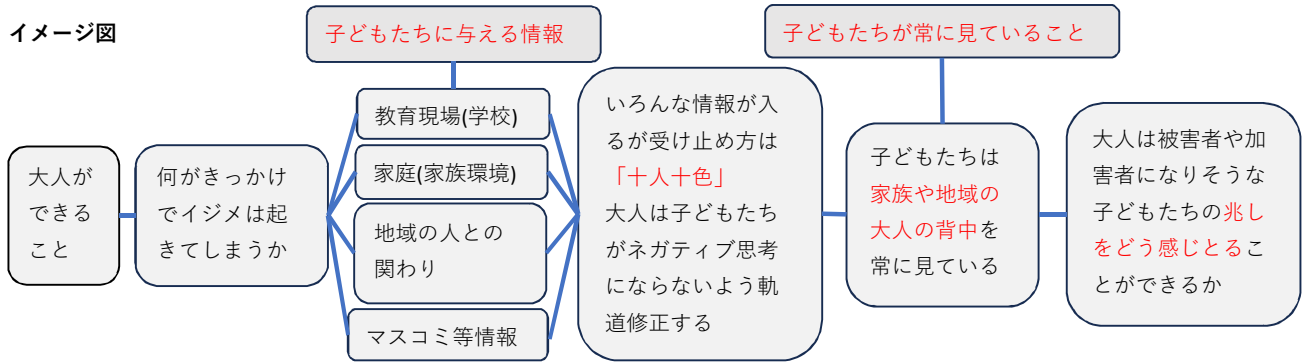
美土里小学校：22-2545

平井小学校：22-0705

日野小学校：22-0824

「いじめが起これにくい地域や学校づくりに向けて、大人ができること」

イメージ図



★大人は「加害者」になっても「被害者」になっても、人生の中で決してプラスにはならないことを子どもたちに伝える責任がある。

★全てのいじめは、ほんの些細なことが切っ掛けとなり少しずつ敵視してしまうようになる。

★今の子どもたちは情報量が大きすぎて、良否の判断基準が追いついていない。

★世界中で戦争や闘争が起きている現状で、道徳心を植え込む現状とのギャップが大きすぎて子どもたちに伝わらない。

<子どもが信号を出せる環境づくりが大切>

- ① 子どもの変化を見逃さない
- ② 子どもを知ろうとすることが大切
- ③ 相手の意見を受け入れることの大切さを大人が教える
- ④ 「いつも気にかけているよ」とサインを送る
- ⑤ 「みんな違ってみんないい」を学校だけでなく、家庭でも互いを認め合う心を育む
- ⑥ あいさつ運動や防犯パトロール、地域行事等で大人が率先しお手声換えをする
- ⑦ 家庭・学校・地域に子どもが悩みを発信しやすい環境をつくる
- ⑧ 学校の要望を受け、地域がどう動けばよいかも相談できるとよい



<“子どもは見ています！” 大人が範を示す行動をとることが大切>

- ① 進んであいさつし、お節介な大人になる
- ② あいさつは「自分の居場所がある」と感じられる大事なこと
- ③ 大人の行動が子どもに影響を与えるので、恥ずかしくない行動をとる
- ④ 家庭でも地域でも、大人が人の悪口や相手が嫌がる発言をしない
- ⑤ 大人が模範を示す
- ⑥ 周りに人がいるところでネガティブなことを言わない（子どもの前で）



参加された皆さんには活発に意見交換していただき、ありがとうございました。
西連携型小中一貫校区の多くの皆さんにとって、子どもたちとの今後の関わりについて考えていただく一助となれば幸いです。

